

～「ふるさと伊那谷学」を軸としたキャリア教育の実践より～

伊那市立伊那中学校

松島 利之

1 はじめに

キャリア教育の定義

「キャリア教育」という文言が登場した背景には、近年の急激な技術革新に伴う雇用形態の多様化・流動化、またバブル経済の崩壊やリーマンショックといった社会の変化に伴う子どもたちの将来の捉え方の変化があります。将来を考えるのに役立つ大人のモデルが見つけれず、学校から職業への移行プロセスに問題を抱える若者が増えてきました。また児童生徒の学びの実態として、日本の子どもたちは学力が高い一方でその学びを将来と関連づけられない、また受験が終わるとその知が剥落してしまいがちであることが、国際的な学力検査やアンケートから明らかになってきました。

中教審答申で、キャリア教育は、「一人一人の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育てる事を通して、キャリア発達を促す教育」と定義されています。この中の「社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力」については「基礎的・汎用的能力」として次の四つの能力を挙げています。

- ・人間関係形成・社会形成能力
- ・自己理解・自己管理能力
- ・課題対応能力
- ・キャリアプランニング能力

この四つの能力については、それぞれの学校や地域等の実態を踏まえ、学校毎に育成しようとする力の目標を定めることとされています。

本校では、平成 28 年度より、地域に愛着を持ち、地域を支える人間の育成をめざす「ふるさと伊那谷学」という、地域のことを地域の人と地域のやり方で学ぶ学習を推進しています。

キャリア教育においても、地域との関わりを大切にし、生徒がさまざまな経験を通したり、多くの大人の価値観や生き様に触れたりしながら、一人ひとりのキャリア発達を促すものとなるように取り組んでいます。

ここでは、その中からいくつかを紹介します。

自分たちの地域を知る活動の紹介

(1) 道草の日

「いいなあ、と思うものを探す」というテーマと「人に迷惑をかけるようなこと、危険なことなどはしない」「中学生として逸脱した行為はしない」「友達の家によって時間をつぶすことは禁止」の3つのルールを与え、生徒が自由に道草を食いながら、ゆっくりと下校することで、地域の知らなかったことを発見することを目的に行いました。

先生達の「道草」の思い

道草はゆっくりかけて歩いたり四つ足のクローバーを探したり空を見上げたりしました。四つ足のクローバーも見つけましたが、その前に五つ足のクローバーを見つけた。あと、空を見上げると不思議な思いになりました。(1年生)

道草をしながら家に帰りました。資源回収のチラシを配りながら、10軒の家が担当なので、その分たくさんの方々と隣りが持てるなと思いました。そのあと春日公園に行って遊びました。中学生になって遊ぶ時間があまりなくなってしまったので、こんなに遊んだのはとても久しぶりでした。遊んでいると勉強や部活のことも忘れられたので、たまにはこういう時間があっていいなと思いました。(2年生)

道草の日で資源回収のチラシを配りました。自分の家のまわり30軒くらい…。家のまわりだったけど、そこに住んでいるのかわからない家もあって、知っている人がいっぱいいると思っていただけど、知らない人もいっぱいいたので、自分の地域なので、できるだけ知っていられるようにしたいです。(2年生)

今日は道草の日でした。友達と一緒に帰りました。普段帰らない道を通って帰りました。いつもと違う風景とか見ながら帰れたのでよかったです。(3年生)

今日は道草の日でした。道草の日の集会上、先生たちが話を聞かせてくれました。すごかったです。その後、道草をして帰りました。春日公園で、いつもは帰らない友達と楽しく話をしながら帰りました。とても楽しかったので、水をかけあげました。とても楽しかったです。(1年生)

今日は道草の日でした。道草の日の集会上、先生たちが話を聞かせてくれました。すごかったです。その後、道草をして帰りました。春日公園で、いつもは帰らない友達と楽しく話をしながら帰りました。とても楽しかったので、水をかけあげました。とても楽しかったです。(1年生)

今日は道草の日でした。とても自由な帰り道でした。先生達の道草のテーマソングもとても良かったです。僕はあんな楽しく自由な空気が一番好きです。とても楽しかったです。(2年生)

今日は、道草の日でした。私は、いつもちがう友達と、いつもちがう道を歩いて帰りました。いつもとは、ちがう景色にとっても心がはずみました。そして、クラスはちがうけど、仲良くすることができ、とてもいい機会だったと思います。(1年生)

道草の思い出は何歳になっても覚えてます！
どの先生の思い出ですか？
予想してみても、聞いてみても良いですね！

道草の思い出は何歳になっても覚えてます！
どの先生の思い出ですか？
予想してみても、聞いてみても良いですね！

道草の思い出は何歳になっても覚えてます！
どの先生の思い出ですか？
予想してみても、聞いてみても良いですね！



道草はゆっくりかけて歩いたり四つ足のクローバーを探したり空を見上げたりしました。四つ足のクローバーも見つけましたが、その前に五つ足のクローバーを見つけた。あと、空を見上げると不思議な思いになりました。(1年生)

道草の日で資源回収のチラシを配りました。自分の家のまわり30軒くらい…。家のまわりだったけど、そこに住んでいるのかわからない家もあって、知っている人がいっぱいいると思っていただけど、知らない人もいっぱいいたので、自分の地域なので、できるだけ知っていられるようにしたいです。(2年生)

こんな過ごし方…

「道草」って…いいな！

今日は道草の日でした。友達と一緒に帰りました。普段帰らない道を通って帰りました。いつもと違う風景とか見ながら帰れたのでよかったです。(3年生)

今日は道草の日でした。道草の日の集会上、先生たちが話を聞かせてくれました。すごかったです。その後、道草をして帰りました。春日公園で、いつもは帰らない友達と楽しく話をしながら帰りました。とても楽しかったので、水をかけあげました。とても楽しかったです。(1年生)

初の道草の日がありました。普段は部活などでいそいで、周りもまったく見ていなかったし、そういう機会がないのでとてもよい企画だと思いました。今日は決められた時間の中でまわりを見たり、のんびりすることができたので良かったです。とても楽しかったです。(1年生)

今日は道草の日でした。とても自由な帰り道でした。先生達の道草のテーマソングもとても良かったです。僕はあんな楽しく自由な空気が一番好きです。とても楽しかったです。(2年生)

今日は、道草の日でした。私は、いつもちがう友達と、いつもちがう道を歩いて帰りました。いつもとは、ちがう景色にとっても心がはずみました。そして、クラスはちがうけど、仲良くすることができ、とてもいい機会だったと思います。(1年生)

今日は、道草の日でした。私は、いつもちがう友達と、いつもちがう道を歩いて帰りました。いつもとは、ちがう景色にとっても心がはずみました。そして、クラスはちがうけど、仲良くすることができ、とてもいい機会だったと思います。(1年生)

第2回道草の日 11月14(水) 14:50~16:30

どんな景色が… どんな出会いが…

さあ… 何をして帰ろうか…

道草の日前の掲示物



(2) ふるさと写真・川柳展

道草の日を通して伊那市のよさを改めて感じた生の生徒達が、市内の自分のお気に入りの風景を写真に撮り、その思いを川柳で表現しました。3月12日～26日の2週間展覧会を行ったり、飯田線リレー号のお出迎えイベントとして行ったりしました。



夏風に
吹かれて踊る
木々の影



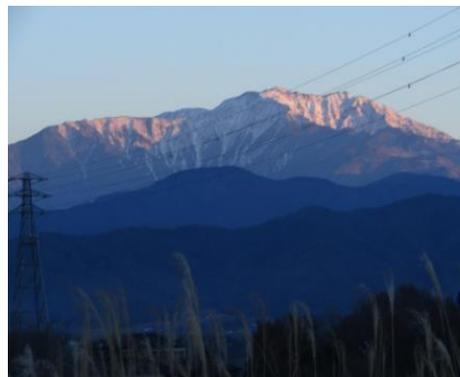
里帰り
するときは私も
使うかな



ふり返る
恋する山と
夕日かな



宝物
差し込む光
朝探す



すすきの穂
山にあごがれ
背を伸ばす



春を待つ
人も自然も
大空も

【来場者の感想から】

* 中学生の自然を観る眼、思いを作品が伝えていて同感する場面がいっぱいでした。(60代男性)

* どんな思いで写真を撮ったのかなあといろいろ想像させてもらいながら、見させてもらいました。自分たちの住む伊那市、ふるさとを学ぶいい学習ですね。いろいろな人とつながりながら、これからも自分、自分たちのふるさとを大切にしていってください。(40代女性)

(3) 上伊那めぐり

1年生の宿泊体験学習では、1日目の見学コースを自分たちで決めています。最初に上伊那広域連合の方から観光、自然、人など、上伊那の魅力を説明していただき、それをもとに、パンフレットで調べたり、家族から聞いたたりして、行きたいところや体験してみたいことを挙げました。生徒達から挙げられたものを上伊那広域連合の方と職員で検討し、コースを決定しました。

生徒達は①～⑦から希望するコースを選び、各コースで体験や、人との関わりから、上伊那の魅力を感じることができました。

後日各コースで学んだことを発表しあい、上伊那の良さを共有しました。

地域学習の様子

- ・上伊那パズル
- ・知っていることを発表しあう



- ・辰野コース
横川溪谷→横川ダム→川島地区→あずかぼ→商店街見学→甘酒屋 a n 's
- ・伊那まち歩きコース
いなっせ屋上→街歩き→お土産探し→創造館→井澤家→春日城址公園
- ・伊那谷の食品産業を知る
内堀醸造 →養命酒→北川製菓→かんでんパパガーデン
- ・伊那谷でスポーツを楽しむ
アウトドアショップK (スラックライン、ボルダリング) →
駒ヶ根ファームズ (昼食) →光前寺→かんでんパパガーデン
- ・信州伊那谷ガレットを知る・味わう
そば畑→ガレットづくり(昼食) →温泉 (みはらしの湯) →信大農学部
- ・伊那谷の防災や地形歴史を知ろう
消防署→美和ダム(昼食) →ジオパーク (高遠高生による説明)
- ・中川村を知り尽くそう
はちみつ工房→ハチ博物館→陣馬形山(昼食) →かんでんパパガーデン

この3年間で考えられたコースの例

調査活動 上伊那をもっと知ろう





【学習のまとめより】

○上伊那の企業の功績を知ることができた生徒

- ・富士急ハイランドのドドンパや飛行機のコンプレッサを作る工場があってびっくりした。
- ・天使の美肌水がこんなに身近で作られているのは知らなかった
- ・日本で2番目に酢が作られている会社があって驚いた。

○上伊那の自然について知ることができた生徒

- ・日本に3つしかないアルプスのうち2つのアルプ스에囲まれて、そばづくりに最適な環境で、「信州そば発祥の地」と言われている。
- ・そばガレットには、上伊那の自然が作り出したそば粉とシードルが味の決め手と言っていた。
- ・ジオパークは他の場所では見ることのできない地形や石がたくさんあった。
- ・内堀醸造では、アルプスの上質な水で様々な種類の酢を手がけていてすごいと思った。

○人との関わりから学んだ生徒

- ・「伊那谷から世界一のガレットを目指す」という言葉がすごかった。
- ・通り町のお店を見て、「リノベーション」をしている人達が多かった。また、どこの店を訪ねてもみんないい人で明るく迎えてくれた。この町を良くしようという願いが強くみんな明るく過ごしていた。
- ・今それ（はちみつ栽培）ができる農家は、その農家だけだそうです。中川村の伝統的なはちみつを絶やさずに次の世代へつなげていくことが大切だと感じた。

3 地域の人との関わりから活動の紹介

(1) 起業家の「マインド」を学ぼう

地域の起業家のみなさんに30名ほどに集まっていただき、その方々の生き方や考え方に触れ、「今の自分」「これからの自分」見つめる機会にすることを目的に行いました。まず、起業家の方々が、一人ひとり自分の考え、経営方針をキーワードで提示し、自己紹介をし、それについて生徒がインタビューを行いました。起業家のみなさんの個性が発揮され、生徒は、その人に興味を持ちはじめます。全員の紹介が終わったら起業家の方が、一人ずつブースをつくり、生徒は興味があるブースへ移動。それぞれのブースでは、初めに起業家の方が、自分の考え方、経営方針などを話しあい、その後、生徒の質問を受けながら、ディスカッションを行いました。25分が経ったところで終了し、別のブースへ移動しました。

多くの大人と触れ合うことにより多様な生き方や価値観に触れ、経験し、感じる。大人や書籍が1つの答えを下すのではなく、ふれあいや、経験や、感じたことをもとに子どもたちが自分で考えること。今の学びが社会とつながっていくと知ること。それこそが子どもたちが学ぶ意欲を高め、自ら生きる力を発見していく道しるべになると考えます。この道しるべとなるのがキャリア教育。(キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会)



【生徒の感想より】

○「学生時代にいじめられたりしてとても大変だったけれど、自分を大切に、幸せを感じるようにしたら、明るい自分になれた」と言うお話を聞いて、これからは自分の周りにはいろいろなものに感謝したいと思いました。

○古本屋のお姉さんは、自分のやってみたいことを、他人に伝えてみて、乗り越えられない壁ができたなら、それはまだタイミングじゃない、という話をしてくれました。自分に素直に生きてやりたいことをやる、大切なことだと思いました。

○今日、私はカラーセラピストの方と通り町で古本屋をやっている方のお話を聞きました。私は今結構ストレスや辛いことがあって、それでいっぱいになっちゃっている部分があるんですけど、カラーセラピストの方のお話を聞いて、自分がどれだけ人のためにならなければならないかということを考えさせられました。人の休めるところでありたいと思います。

○「Yさんには、『嫌だと思った事はやめてもいい。やめられる勇気を持った方がいい』と言うことと『失敗しても死なない』と言うことを言われました。
(中略) Yさんには、僕の夢である「ジョッキー」になることをすごく応援してくれたので、絶対夢を叶えて、応援してくれた人に恩返しがいつかできたらいいなあ、と思いました。」

○お話を聞いて、共感できることがたくさんあり、今無理だなと思っていることでも、自分でやりたいことをやってみたいと思いました。私は最近無理だなといろいろあきらめていたけど、あきらめずに頑張ることが大事と言うことを聞いて、これからあきらめずに、口に出して頑張りたいと思いました。

4 職場体験学習連続5日間 (2年生の取り組み)

1年次に2日間、2年次に3日間実施していた職業体験学習を、平成29年度より、2年次に連続5日間行なうようにしました。

【カフェで職場体験学習を実施した生徒の振り返り】

○初めての経験がものすごく多くて、はじめの2日間は戸惑いながら仕事をしていました。3日目くらいからだんだん分かるようになってきて、最終日には、自分からやることがないか考えたり、細かなところまで意識して仕事をしたりできるようになりました。今の私にとって、働くとは、「相手を笑顔にすること」だと思います。お客さんに「ありがとう」と言ってもらえた時が、とても嬉しく、仕事のやりがいを感じました。これから私は、人を笑顔にできる人になっていきたいと思いました。

【病院での職業体験学習を実施した生徒の振り返り】

○お年寄りの方の介護のお手伝いをしました。足を洗うときに、最初はどのくらいの力加減で行えばいいのかよくわからず、あまりうまくできなかったし、どうしたら気持ちよく感じてもらえるのかわからなかったけど、2日目、3日目とだんだんと話ができるようになり、笑顔で関わられるようになってきました。最後の日に「ありがとう」と言われた時には、涙が出そうになるくらいうれしかったです。

<職業体験学習のアンケート 職場からのご意見>

○職員一同、今の仕事に改めてやりがいを実感させられました！

○1週間の学習になったとのことですが、職場を理解するには1週間くらいあってもよいと思いました。

●初めての体験で5日間はやや無理がある。特に飲食店では3日間がベストだと思う。本人も3日目から疲れが出て声が小さくなってきました。

連続5日間だからこそ感じられたことも多くありました。今後も企業側と連携し、職場体験学習の充実につなげていきたいです。